

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はにーばんkids			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		～	2025年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59名	(回答者数)	35名
○従業員評価実施期間	2025年 10月 1日		～	2025年 10月 14日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	エビデンスを重要にした療育方法。個別支援計画の内容が発達理論に沿っている。	実施と評価の徹底。活動場所の設定が明確。保護者と利用者の意向をヒアリングを大切にしている。職員の専門性を有効活用とスキルアップ。	アセスメントの強化。事業所での過ごし方をいっそう楽しめるよう配慮する。
2	保護者との話し合いの機会の多さ。	保護者の語りを引き出す配慮。ニーズのある保護者には、個別の話し合いの機会を提案。	
3	関係機関との連携における情報提供の質。	連携が可能なことを周知。連絡帳に「園より」欄を設置。	ニーズのある保護者には個別に声掛け提案する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスがない。		保護者との対話をいっそう充実させていきたい。
2	地域住民との連携や外部との積極の機会が少ない。	個別支援計画の内容を優先すると、地域住民との連携が後回しになることがある。	当面は、事業所内での発達支援を中心に療育をすすめていきたい。
3	季節のイベントや行事を取り入れてたプログラムが少ない。	個別支援計画の内容を優先すると、季節のイベントや行事が後回しになることがある。	可能なかぎり季節イベントを実施していきたい。